

経営者への活きた言葉

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

英国のEU離脱にどう対応するか

新波 剛史（サントリーホールディングス社長）
永守 重信（日本電産会長兼社長）

- 新浪剛史 1. 欧州連合（EU）の仕組みそのものが制度疲労を起こしているということだ。不確実性が長く続き、トンネルの先に光明が見えない事態となれば、企業や消費者が身を縮めるのは半ば当然で、デフレに陥るリスクは大きくなる。
2. だが、グローバルゼーションが後戻りできない以上、国や経営者は絶対にブレないことが求められる。日本でいえばTPP（環太平洋経済連携協定）や構造改革の推進などで、今の流れを止めてはならない。欧州経済が今後、厳しさを増すことは確実だが、日本がすでに経験しているデフレやそこからの脱却への取り組みから学べることもあるはずだ。
- 永守重信 1. 英国のEU離脱が、世界経済に大きなショックを及ぼすのは確かだろう。だが、経営はリスクの連続であり、それをどうコントロールするかという戦いだ。マイナス面ばかりが強調されているが、果たしてそうか。
2. この後、ポンドが弱くなっていくのは間違いないだろう。それは日本にとっては円高だから、例えばM&A（合併・買収）がしやすくなることを意味する。EUとの間で関税がかかるようになることばかり強調されるが、対ポンドでの円高がそれを超えるほど進むならチャンスだ。こういう時こそ、経営者は大局観をもって考えなければならない。

（参考：「日経ビジネス」2016年7月11日号）

経営者のための危機管理

三菱グループの強さの要因

武田 晴人（東京大学名誉教授）

1. 今回、三菱自動車で起った経営危機がすぐに三菱グループの弱体化につながるとは見ていない。三菱のような企業集団には、資金調達や情報共有などで強みがある。特に三菱グループはあらゆる企業を取りそろえた、いわゆる「ワンセット主義」を最も完全な形で残した財閥系の集団だ。たとえば住友グループは、鉄は持っていたが、自動車は持っていない。今は鉄も手放しかけている状態だ。三井グループは商社と銀行が儲けているが、機械部門には進出し損ねた。傘下の東芝に対する影響も強くない。
2. その点、三菱には、機械部門に三菱重工業があり、電機部門に三菱電機がある。ほかにも石油化学など多くの素材部門があり、銀行や海運、さらに海上保険がある。そして、これらはすべて競争力のある企業として現存している。三菱が他の企業集団より強いといわれるのは、このグループの総合力に起因する。

（参考：「週刊東洋経済」：2016年6月251日号）

経営者のための理念・哲学

士の道、士の行い

渡邊五郎三郎（元福島新樹会代表幹事）

1. 父の教育は、中学校に入りますと、橋本左内が15歳の時に著した「啓発録」を与えられ、これを読んで努め励むように言われました。「啓発録」には自分自身を叱咤、激励するための言葉が記されています。①稚心を去る②気を振るう③志を立つ④学に勉む⑤交友を択ぶ。
2. 松田松陰の「士規七則」も毎回の集まりで読むのが通例でした。特に人生の指針としてきたのは次の言葉です。
- 「士の道は義より大なるはなし。義は勇に因りて行われ、勇は義に因りて長ず。士の行は、質実を欺かざるを以て要と為し、巧詐過を文るを以て恥となす。公明正大、皆是より出ず」

（参考：「致知」2016年9月号）

古典に学ぶ

義理は厳しい親方

（解説）同じことは他の道徳的責務にも当てはまる。義務がわずらわしくなるとたんに、ただちに正しい道理が介入して、私たちが義務をのがれないようにさせる。このように理解すれば、義理は厳しい親方であって、樺のむちを手にして怠け者を打って、その役割を果たさせるのである。

（参考：佐藤全弘訳新渡戸稲造「武士道」：教文館）